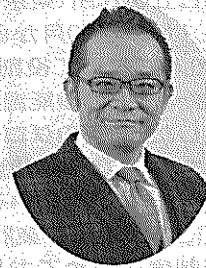


キャリア権の時代

【第17回】



インテリジェンス
HITO 総合研究所
主席研究員
須東 朋広

NPPO法人キャリア権推進ネットワーク
「キャリア権推進研究会」

スキル磨く意識を

前回は現在の激変する経営環境でビジネスを成功させるために、個人の自律的なキャリア形成が要請されていることについて述べた。では、働く人はどうやって自律的なキャリア形成を行えばいいのか？ 当NPPO法人で行った3氏へのトップインタビューから検証したい。

下積み期間が重要

段階踏まえて仕事を熟達

キヤノン電子の酒巻社長は「ある程度環境の変化に対して汎用性のあるスキルとキャリアを自分で守り、常に磨き続けるという意識が必要である」とおっしゃっていた。またJAセンセンの滝見会長は「継続的な職業人生を築いて

仕事に成功に導くために「能力」を発揮すること、目的を持って「能力」を高めることだといえるだろう。そのために何をすればいいか？ 加藤館長は「元電通の藤岡和賀夫さんが提唱された『オフィスプレイヤーへの道』すべて自分の裁量で仕事をす

るプロフェッショナルのことです」と、段階をきちんと踏まえて仕事に熟達していくこと、とくに「スレイプ」の下積み期間の重要性を説いた。また酒巻社長は「1つは自分のいる業界に精通し、第一人者になること。もう1つは少し離れた業界の人脈を持つということ。1つ目は多くの人が意識しますが、少し離れた業界との人脈を持つという点は疎かにしがちです。業界の枠組みやプロジェクトの在り様は常に今の形のままであり続けるわけではありませ

るプロフェッショナルのことです」と、段階をきちんと踏まえて仕事に熟達していくこと、とくに「スレイプ」の下積み期間の重要性を説いた。また酒巻社長は「1つは自分のいる業界に精通し、第一人者になること。もう1つは少し離れた業界の人脈を持つということ。1つ目は多くの人が意識しますが、少し離れた業界との人脈を持つという点は疎かにしがちです。業界の枠組みやプロジェクトの在り様は常に今の形のままであり続けるわけではありませ

かを冷静に問うという意味でも、社外の人脈と触れながら自身のキャリアを棚卸してみることをお勧めします」と、仕事で突出した成果を出すこと、そのために社外人脈を作る重要性を説いている。加藤館長も社外人脈との対話によるリフレクションは学びにつながるという奨励している。「専門外の優れた人と対話をするなど、できる限り多くの時間を専門外の人と付き合うことに費やすことです。専門外の人と付き合うことで自分自身の専門の限界や陳腐さが嫌というほどよく分かります。そこで得た様々な学びが次への励みになります。キャリア権につながる自律的キャリアをどう形成していけばいいのか、非常に示唆に富むお話をいただいた。

専門外の人と対話
また酒巻社長は「1つは自分のいる業界に精通し、第一人者になること。もう1つは少し離れた業界の人脈を持つということ。1つ目は多くの人が意識しますが、少し離れた業界との人脈を持つという点は疎かにしがちです。業界の枠組みやプロジェクトの在り様は常に今の形のままであり続けるわけではありませ